

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回東秩父村小・中学校あり方検討委員会
開催日時	令和5年6月28日（水）15:00～16:40
開催場所	東秩父村役場2階 大会議室
出席者	出席者13名（委員9名・事務局4名） 〔委員〕高橋守委員長、吉野孝副委員長、関口美江委員、轟元気委員、栗島明生委員、高野次雄委員、川島一伸委員、田端隆二委員、高田長子委員 〔事務局〕小林教育長、菊地指導員、志田指導員、笠間
会議記録	発言記録 ・ <u>要点記録</u>
議事内容	<p>1. 開会 菊地指導員</p> <p>2. 教育長あいさつ 小林教育長</p> <p>3. 委員長あいさつ 高橋委員長</p> <p>4. 委員・事務局自己紹介</p> <p>5. 副委員長の指名・あいさつ 事務局案として副委員長に吉野孝委員を推薦し、全会一致で賛成</p> <p>6. 協議事項</p> <p>(1)あり方検討委員会の会議の進め方について</p> <p>委員長 今回の説明で、この流れでよいか。</p> <p>委員 アンケートをとる方向なのか。</p> <p>委員長 アンケートの内容などを皆さんで検討し、集約してまとめるのには時間がかかる。大変なので、私が考えた構想を素案として事務局に提示してある。また、教委自体でも様々な情報を持っていると思う。それをもとに、教委で検討してアンケートを作成・実施して、委員会に提供してもらおう。</p> <p>委員 よいと思う。</p> <p>委員 課題解決の中で、学校の体制について5つある(実際は6つ)が、もっと絞って話し合ったらどうか。</p> <p>委員長 この委員会は、学校の体制をどうするのかをまとめて村長に答申するのが目的である。村はその答申について、具体的にどうするのかを決めて、議会で承認を得てから実際に動き出すのである。</p> <p>事務局 委員長が話されたとおり、この委員会では小中学校をどのようにしていくのかを理想でもいいので話し合ってまとめて答申したい。</p> <p>委員長 前回は意見が出たように、事前に資料を配布して皆さんにあらかじめ見ていただいて、質問や意見が出やすいように考えた。</p>

(2) 委員会の審議スケジュールについて

→令和6年度末までに答申書の提出する予定。

(3) 東秩父村の教育の現状について

委員 資料4の村独自の教員について、学校の教員はすべて村の教員ではないのか。

事務局 確かに小・中学校の教員は村の教員であるが、学級数に応じて県から教員が配当される。配置の定数が決まっていて、小学校9人、中学校9人となっている。資料4の村独自の教員とは、それ以外に配置している教員である。

委員 どういう教育方針なのかを決めれば進めやすい。一体型、今まで通り、やるかやらないのかを決め、はっきりとした目標をもって、こういう方向性と示したほうがよい。答申を出して、議会に諮るのでは先延ばしになってしまう。

委員長 これらのことをこの委員会で決めていく。実際に新しい学校をつくっているところもあり、メリットやデメリットがわかっている。小中一貫教育のメリットやデメリットを把握して、どのような学校がいいのかを話し合いたい。

委員 もっと加速してほしい。すでに実施している学校もあるので、本村も統合し、一貫にするかしないかを進めてほしい。

委員長 全国的に子どもたちが減少しているので統合する学校が多い。ただ、統合しては困るという声もある。どちらがいいのか。皆さんの意見をもとに決めていく。本村は、すでに小学校を統合し、小学校1校、中学校1校なので、小中一貫教育が可能かどうかを考えていきたい。小川町では方向性が示されたがデメリットもある。東秩父村でも遠くの子どもたちが困っているという声もある。村民の思いもアンケートをもとに聞いていきたい。槻川小では東西があり、登下校時に東地区は徒歩なので、なんで僕たちだけという声もある。

委員長 いずれにせよ、方向性がだせばいいと思う。小川町でも審議し、何km以上はバスを使用するのかを話し合った。全国規模で調べたら、2kmという市町村が多かった。歩くことにより足が強くなる。難しい問題であり、2kmを目安として、境目をアバウトにした。細かいところまでつめていくと難しい。

(4) その他(委員からの意見)

委員 ここで出す話ではないかもしれないが、PTAは必要なのか。あり方を考える必要がある。比企での会合もあり、今の世に合っているのか。その中でも役割がある。集まるのが目的になっていて、会長同士で話し合っても前

のめりの人はいない。くじか順番で決まっているようだ。やる気のない人たちで、続けていく意味があるのか。保護者会は必要であり、行事などの手伝いなど、前向きな人が多い。PTAの球技大会、懇親会への参加など負担は大きい。PTAの効果があればいいが、ないのであれば先生の負担もなくなる。

委員長 あるべき姿を検討したい。みどりが丘小学校はPTAがない。保護者会組織が連携している。PTAは全国、県などの上部とのつながりがある。必要なかを検討してもよいのではないか。皆さんのざっくばらんな意見を伺い、それらをまとめていく。東秩父村では、多くの支援員を配置している。子どもたちが少ないので支援も行き届いている。今日は教育現状を話してもらったが、次回以降に話していただく。私としても情報を収集して提供したいと考える。体力面や学習面で、子どもたちが少ないことがどのように関連しているのか現状をとらえる必要がある。マイナスなこともあると思う。部活動でも人数が少ないと活動できない部もあり、体力もなくなるのではないのか。現状から課題を見つけ、次にどうするのかを考えていきたい。生徒指導上の問題は少ないのは、目が行き届いているからかどうなのか。さいたま市では、英語の学力がトップである。それはなぜか。東秩父村では小学校1年生から英語を取り入れている。その効果はどうなのか。トップレベルになるにはどうすればよいのか。福井県や秋田県は学力が常にトップレベルにある。情報収集して皆さんに提供したい。

○その他

事務局 皆さまからの要望があれば、小中一貫教育はどういうものなのかの紹介や実際に学校へ見に行くこともできますので、よろしくお願いします。

7. 次回開催について

→8月下旬もしくは9月中旬に開催を予定している。

8. その他

→特になし

9. 閉会 吉野副委員長

